

グループホームのある日

前回の「春の小川通信 No.42」に、こぶなの家のKさんが公園でのラジオ体操に出かけていると紹介させていただきました。それから半年、春になった4月より、天気の良い日以外は毎朝ラジオ体操に出かけています。

今年の活動もそろそろ終わりという10月のある日、ちょっとお邪魔してみました。

活動を始めたのは2014年から。最初はご近所の4~5人で始められたのが、体操している様子を見た人からだんだん増えていき、現在は15名ほどになったそうです。「年齢に関係



ラジオ体操第一 ♪♪

なく誰でも参加していいですよ」とリーダーの方より笑顔で教えて

サービス管理責任者 宮入 和子

いただきました。「Kさんは挨拶してくれる」「四つ葉のクローバーを探すのがじょうず」など、メンバーの皆さんが暖かく迎え入れてくださっているのが分かりました。

グループホームの話題でもう一つ、今年も、めだかの家の隣組のAさんより渋柿をたくさんいただきました。

Aさんは「今年は色付くのが早いね」といながら、大きくなった柿の木を見上げ、上の方は柿の実を収穫するのは大変そうでした。

甘いおいしい干し柿になります。みんなの冬の楽しみの一つです。

おいしく
な一れ

こんなことがありました

お盆に作りました



きゅうりもなすも
こぶなの家の
畑でとれたよ



塩尻市文化祭（11/2(土)~11/4(火)）に出展しました



飾りも花も
おりがみです



キラキラ☆



相談支援事業所 つくしんぼ

相談支援専門員 上條順子

朝から雨の10月の月曜日。「ちゅーりっぷ」の作業場で箱折、部品並べ、入浴剤等の仕事に、内勤の方が納品に合わせて忙しく取り組んでいました。時々、作業中に邪魔にならないように仕事の様子を見せていただきながら、声かけをさせていただきます。皆さんどなたも手元に集中しながら作業に取り組んでいます。私もシール貼りを少しさせていただいたのですが、慣れないので「もたもたして」時間がかかります。そんな私に利用者さんは明るく「大丈夫、大丈夫」と声をかけてくれます。

皆さんの優しさに気持ちが高になり、「ちゅーりっぷ」の作業所の雰囲気になれ、相談支援専門委員の仕事の励みになっています。

